

# 収集された陪審員候補者リスト情報の更新

SSB 5128 (2023-24) および RCW 2.36.054に基づく

2024年7月1日から、SSB 5128 のセクション4が、Washington州における陪審員候補者と交信する新たな方法に対する選択肢を提供します。陪審員候補者リストへの電子メールアドレスの提供に関してオプトインするDepartment of Licensing (ライセンス局、DOL) およびSecretary of State (州務長官、SOS) の賛同者に対して電子的な陪審員召喚状を追加するものです。**オプトインしないDOLおよびSOSの賛同者の電子メールアドレスは提供されません。**

SSB 5128は、単に電子的な陪審員召喚状を好む個人に対して追加的な送達方法を追加するものであり、陪審義務への召喚可能性を高くするものではありません。Washington州裁判所で既に共有されている陪審員候補者リストへの情報の追加にすぎません。



## 背景

RCW 2.36.054は現在、DOLおよびSOSに対して運転免許取得者および登録有権者の氏名および郵送先を提供することを義務づけています。この情報は、陪審員候補者リストをWashington州裁判所に提供する目的で提供されています。

DOLおよびSOSからWashington州裁判所にデータが提供される前に、Washington State Consolidated Technology Services (ワシントン州総合技術センター、WaTech) は2つのリストを統合し、重複を削除しました。運転免許取得者またはIDカード保有者であってなおかつ登録有権者である者は、陪審員候補者リストに1回しか含まれないということです。

陪審員候補者リストはまた、郡により管理され、Washington州の運転免許取得者またはIDカード保有者であってなおかつ登録有権者である者は、在住する郡内でしか陪審義務に召喚されません。

## 合理的根拠

陪審員候補者との交信手段を多様化する目的は、陪審員回答率を増加し、究極的には陪審の多様化を図ることです。

頻繁に引越す方や信頼できる郵便サービスを有していない方にとっては、召喚状を適時に受け取れるようになり、陪審員候補者に十分な回答時間が与えられるようになります。